

保育学科 主要科目の特長

2026年4月1日

教養教育科目

【キャリア教育】

本学独自の教科。マナー研修をはじめ、危機管理教育等、1年を通して学びます。外部専門家も招き、社会に出てから役立つ幅広い教養を身につけます。

基礎技能科目

【声楽】

楽譜の読み方、簡単な音楽記号や用語を理解し、わらべうた、唱歌、童謡を含めた様々な子どもの歌を歌いながら味わいます。そして、子どもたちと歌うために大切な事や指導法、指揮法などについても学びます。

【器楽（応用）】

ピアノの基本的な知識や技術を身につけた後、応用として保育教材に用いられる曲を「弾き歌い」できるようにグループレッスンを行います。

【幼児体育】

幼児向けの曲に合わせたダンスや、遊びなど幅広い内容を学びます。実技形式により、幼児の体育指導の見方・捉え方や、保育現場で使われる施設・設備・遊具の種類に応じた活動の指導方法・管理などについて学びます。

基礎理論科目

【保育原理】

「保育とは何か」という疑問から、保育の歴史・制度・保育内容などの知識を習得し、保育の意義、原理、原則を理解します。また、現代家族を概観し、保育所の社会的役割、保育ニーズ、健やかな子どもの成長を育む保育について検討するとともに、保育計画や評価の方法などを通して、保育所の実際を学びます。

【子ども家庭支援論】

子どもを巡る社会的環境は、少子化、核家族化、家庭や地域の子育て機能の弱体化、経済的問題、女性の社会進出といった様々な時代背景により、めまぐるしく変化し続けていることから、保育ニ

ーズは拡大し、多様な課題を抱えています。家庭や地域における子育ての課題を知り、子どもの健やかな育ちをサポートする者としての保育者の重要な役割を理解し、子育て家庭を側面的に支える専門職として、家庭の支援が出来るようになること目指します。

保育の内容・方法

【保育内容総論】

子どもを理解し、環境構成や保育者の役割、連携などに目を向け、適切な援助について検討しながら、子どもの最善の利益にのっとった保育内容について、実践的に学びます。また、保育内容の歴史的変遷について学び、保育を常により良く造り替えていける保育者として、子ども観、人間観、保育観を育てます。

【子育て支援】

子どもの保育を通じた保護者への支援のあり方について、事例を題材として検討し、自分の考えをもとに他者と意見を交わし合いながら学びを深めます。子育て全般に関わる相談に対して適切なアドバイスができるようになるために、親子を取り巻く地域資源や社会資源、専門機関との連携などについて具体策を見出していきます。

保育の対象・理解

【教育相談論】

教育相談は、子どものこころの問題を扱うだけでなく、保護者や子どもをとりまくさまざまな環境も考慮しながら進めます。幼稚園や教育現場で行われる教育相談活動において、子どもや保護者を理解するために必要な知識・方法および実際の介入方法などについて知識を深め考察します。

教育・保育実習

【教育実習】

1年次の実習では幼稚園現場で子どもと保育者との関わりを通じた観察・参加実習を行います。2年次には実際に子どもたちを指導する指導案をつくり責任実習を行います。

【保育実習】

保育実習Ⅰでは保育所や児童福祉施設の実際を学びます。保育実習Ⅱ・Ⅲでは、責任実習を通して実践的な技術・知識を身につけます。

ゼミナール

【ゼミナール】

学生が主体的に課題を設定し、絵本・玩具等の制作や、少子社会・地域子育て支援等に関する研究レポートの作成を行います